

令和2年度「市民満足度調査」結果報告

1. 実施概要

(1) 調査目的: 本調査は、いわぬま未来構想における、まちづくりの指標6項目についての現状(幸せ指標・住みよさ指標)と、令和元年度のまちづくりへの取り組みについて、市民ニーズの現状(満足度・重要度)を把握し、今後の市政の方向性や各施策の有効性、改善策等を導くための資料として活用することを目的に実施するもの。

(2) 調査対象: 市内居住の男女(18歳～75歳まで1,496名)

(3) 抽出方法: 住民基本台帳(令和2年8月3日基準)から二段階抽出(男女・年齢、地区)

(4) 調査方法: 調査票の郵便発送及び郵便回収

(5) 調査期間: 令和2年9月1日～9月30日

(6) 回収結果: 回収数769人(回収率51.58%)

(7) 調査項目

○ 幸せ・住みよさにかかる6項目

「幸せ指標」: 幸福感と、その判断基準を調査

「住みよさ指標」: 住みよさと、その判断基準を調査

○ 新総合計画に基づく47項目に対する満足度、重要度及び最重要度

「満足度」: 各項目について、どの程度「満足」しているかを6段階で調査

非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
6	5	4	3	2	1

「重要度」: 各項目について、どの程度「重要」と考えるかを6段階で調査

非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	非常に不満
6	5	4	3	2	1

[分析結果の見方]

- ・ 回答は、実数及び百分比(%)で表し、グラフについては百分比を基に作成している。
- ・ 百分比は、小数点第3位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 回答件数は、無記入等判別できない回答があるため、設問毎に異なる場合がある。
- ・ 平均点は、回答点数の合計÷回答者数で算出している。